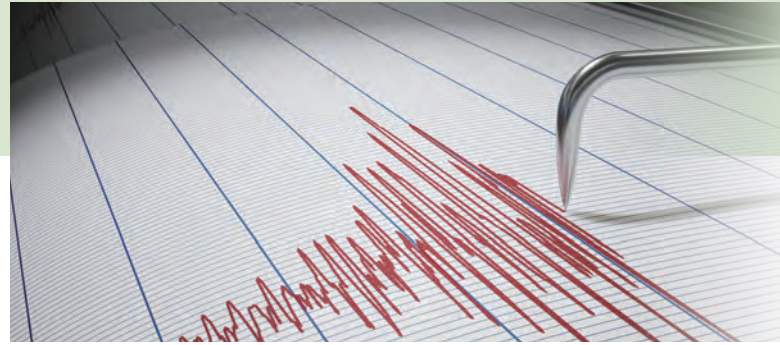


測震ナビ®

地震による建物健全性評価システム

地震発生後に建物の安全性を確認するには、これまで専門家による判断が不可欠でしたが、被災地に到着するのに数日かかる可能性があります。「測震ナビ®」は、地震発生後数分で建物の健全性を簡易評価できるツールです。



素早く正確な判断ができないため、
復旧作業の対応に遅れが生じてしまう



専門家の到着に
時間がかかる

定量的な建物健全性の
基準がなく正確性に欠ける

点検項目が
従業員によりバラバラ

測震ナビ® なら素早く建物健全性を評価、遠隔からも判断可能

IoT を活用し、
数分で定量評価

メリット

- 1 地震直後の建物に入ることなく、使用可否が迅速に定量的に判断できる
- 2 建物の健全性を“見える化”することで、施設利用者の安心感が得られる
- 3 建物の使用可否を数分で評価できるので、応急復旧フェーズへの早期移行が可能になる

システムの概要



高精度加速度センサー
工場設備内の建物の隅々まで対応

1 地震発生

・加速度センサーが揺れを感知

2 揺れを計測・計算

・建物の揺れ方に応じて各階の加速度、
層間変形角を算出

3 健全性評価

・事前に設定したクライテリアにより、
健全性を評価

4 結果通知

・現地で確認(モニタリングPC)
・リモートで確認(携帯端末など)

裏面の情報もご覧ください。

専門知識を要することなく、結果を把握

建物の健全性を3段階でわかりやすく評価



健全性評価の表示画面

- ①地震の履歴
- ②総合評価(3段階)
- ③震度階級
- ④評価結果に基づく行動指針など
- ⑤構造体などの個別評価(4段階)



事前に作成したチェックシートを用いて点検

要点検の判定になった場合、目視による点検が必要です。
建物の特性に合わせて、実効性の高いチェックシートの作成を支援します。

建物点検チェックシート例



事前に作成した
チェックシートを
使用して点検



お客様の声

「地震などの災害時では、従来のBCPでは対応できない事態が生じます。そんな時、自分たちの組織で対応しようにも、スタッフが少なく、時間や手間がかかり解決できません。企業でBCPを担当されている方は、私たちと同じような問題を抱えておられるのではないのでしょうか。私たちは緊急時の活動基盤をデジタル化することで実効力のあるBCPを実現できるのではと考えています。「測震ナビ®」は、チームのメンバーや社員の命を守るツールです。「測震ナビ®」がこれからのBCP支援ツールのスタンダードになるのではないのでしょうか。」

QRを読み取ると、インタビュー記事がご覧いただけます。→

